231

この記事がすごい! 毎日新聞今週のこだわり4本



2024年10月6日号

編集/毎日新聞社カスタマーリレーション本部

性的少数者のパレード 紡いだ30年

6日(日)=1、3面

今年4月に実施されたパレードの参加者たち



近年、性的少数者を意味する「LGBTQ」という言葉を聞くことが増えました。

その当事者らが性の多様性を訴えようと、東京・渋谷で毎年開く「プライドパレード」には1万5000人が参加するまでになっています。今年は、日本での初めての開催から30年の節目であることはあまり知られていないかもしれません。

1994年に東京で実施された第1回目のパレードを率いたのは、南定四郎(ていしろう)さん(92)。日本の性的少数者の運動史における「レジェンド」の一人と言われ

る人物です。性的少数者への偏見 が今よりもっと強かった時代にパ レードを歩き、社会に声を上げよ うと仲間に呼び掛けました。

運動の歴史を切りひらいてきた 南さんの人生の原点には、13歳で 迎えた終戦と樺太からの引き揚げ 経験があると言います。南さんは いかに困難に立ち向かってきたの か。そして、根強い差別の中、パ レードの「バトン」を継いだ人た ちの思いとは。30年間の歴史と、 社会の変化を追いました。



スポーツ競技とAI

6日(日)=総合面

スポーツ界でも人工知能(AI)の活用が広がっています。今夏のパリ・オリンピックでは、体操競技で演技内容を数値化して採点に生かすシステムも導

入されました。さまざまなスポーツで、選手の動作を解析して技術向上につなげる試みも進んでいます。スポーツとAIの現状について解説します。





A I を活用した採点システ ムが導入された体操競技

特集「コイド」死の体験旅行

7日(月)=夕刊2面

死について、日ごろから意識している人はどれほどいるのでしょう。誰しもいつかはこの世を去ることになるのに、とりわけ心身ともに元気な時期には、死を意識する機会はほぼない、という方が多

いのではないでしょうか。

病に倒れ、できることが減り、 力尽きるまでを仮想体験する「死 の体験旅行」という仏教者の取り 組みに参加し、生と死に思いをめ ぐらせました。

<u>※先週は紙面事情により休載しました。再掲となります。</u>



す。 (山田寿治) す。 (山田寿治) ました。 人とのつながるって までの営業の仕事と地までの営業の仕事と地までの営業の仕事と地まるしくお願い致しました。 しょうぞい かんばります いかして お客様と毎ました。

今月からカスタマー 今月からカスタマー ので「どんな部署だろ ので「どんな部署だろ が、「お客様の満足度 が、「お客様の満足度 が、「お客様の満足度 を会社のブランドカを も会社のブランドカを も会社のブランドカを を会社のブランドカを を会社のブランドカを を会社のブランドカを を会社のブランドカを

窓辺から



特別養護老人ホームで働く フィリピン出身の男性



すると目減りする円安も逆います。賃金を現地通貨にろが、グローバル化によったが高まっています。とこ性は高まっています。とこ支える外国人労働者の重要支える外国人労働者の重要地域の産業や人々の生活を地域の産業や人

3人の有識者に聞きました。になるための課題について、働き手から「選ばれる国」外に活路を見いだそうとす外に活路を見いだそうとすがに活路を見いだそうとすがに活路を見いだそうとすが出ています。

10月9日 水 =オピニオン面

※都合によっては掲載日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。